

ふれ愛講座

入場無料

人権啓発講演会＆コンサート

開催日時

令和8年
2月14日(土) 開演 13:30
開場 12:30

会 場

丹鶴ホール文化ホール

手話通訳あり

演 題

「命の大切さを考える～絶望の中の希望～」

講 師

松永 拓也 氏

(一社)関東交通犯罪遺族の会 あいの会 副代表理事

【プロフィール】

2019年4月に発生した池袋暴走事故の遺族。
妻(31)と娘(3)が横断歩道ではねられ死亡。無残な二人の遺体を見て、「二人の死を無駄にしない。他の人にこんな思いはさせない」と決意。
あいの会に声をかけていただき活動を始める。高齢ドライバーによる事故であったため、高齢ドライバー問題について特に力を注ぐ。



特別開催

- ・和歌山県警察音楽隊コンサート
- ・新翔高校生徒による紙芝居の朗読
- ・生命のメッセージ展

※2月9日(月)～12日(木)も
新宮市役所 1Fにて
開催いたします。



※事前申込不要・満席の場合は入場をお断りする場合があります。

※駐車場には限りがあります。公共交通機関の利用や乗り合わせでの来場にご協力ください。

※駐車場のトラブルや事故等については一切責任を負いかねます。ご了承ください。

【主催】新宮市教育委員会

【共催】新宮市・新宮警察・紀南交通事故被害者の会・新宮市人権尊重委員会・新宮市スクールソポーター会議・新宮市人権教育推進委員会

【協力】和歌山県立新翔高等学校・特定非営利活動法人 いのちのミュージアム・特定非営利活動法人 KENTO

【お問い合わせ】新宮市教育委員会生涯学習課

電話：0735-23-3333 FAX：0735-21-5298 E-mail：s-gakusyu@city.shingu.lg.jp

スケジュール

| | |
|-------|------------------|
| 12:30 | 開場 |
| 13:30 | 開会 |
| 13:40 | コンサート① |
| 14:30 | 紙芝居・メッセンジャー活動の報告 |
| 15:00 | 講演会 |
| 16:40 | コンサート② |
| 17:00 | 閉会 |



「生命のメッセージ展」とは

犯罪・事故・いじめ・医療過誤・一気飲ませなどによって、理不尽に生命を奪われた犠牲者が主役のアート展です。

犠牲者ひとりひとりの等身大の人型パネルは「メッセンジャー」と呼ばれ、その胸元には本人の写真や家族の言葉を貼り、足元には「生きた証」である靴を置いて、いのちの大切さを訴えています。

生きたくとも生きられなかった「メッセンジャー」からの「いのちを守り、未来につなげる願い」を感じてください。

～広げよう やさしい心と思いやり～

新宮市では。令和7年3月に

「新宮市犯罪被害者等支援条例」を制定しています。

誰もが、突然犯罪等に巻き込まれ、被害者やその家族、遺族になり得る恐れがあります。

多くの犯罪被害者等は、十分な支援を受けられず、社会で孤立する場合があります。

新宮市では、犯罪被害者等が再び平穏な日常生活を送ることができるような支援に取り組み、市民のみなさまが安全で安心して暮らすことのできる地域社会の実現をめざして、令和7年4月に条例を施行しました。市民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

新宮市では。令和7年3月に

「新宮市部落差別の解消の推進に関する条例」

を制定しています。

新宮市はこれまで、市民の皆さんとともに部落差別の解消に向けて取組を進め、一定の成果を上げてきました。しかしながら、現在もなお部落差別が存在し、インターネットなどの情報化の進展に伴い、部落差別に関する状況に変化も生じています。こうした状況を踏まえ、新宮市では、部落差別の無い社会の実現を目指すため、令和7年7月に条例を施行しました。

部落差別の無い新宮市の実現に向けて市民のみなさまのご理解とご協力をお願いします。